

# 美術科 年間指導計画

## 美術 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力、豊かな情操を培う。

1 学年 （年間 45 時間）

美術 第 1 学年の目標
①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現活動を工夫して表すことが出来るようにする、
②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練る。また、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
③楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

参照：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）

月	単元名	指導内容	評価材料
4	・オリエンテーション	・美術との出会い ・3 年間の美術について ・授業内容や評価について	・授業の様子 ・ワークシート
5	・見つめて、感じて、描いて （表現：デッサン）	・鉛筆や絵の具の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ・身近なものを見つめて感じ取った形や色彩、美しさやイメージから主題を生み出し、構想を練る。	・アイデアスケッチ
6	・なぜか気になる情景 （表現：絵）	・作者の表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を広げる。	・ワークシート （振り返り、鑑賞シート、ロイロノート含む）
7	・絵の中にある物語 （鑑賞）	・構図や色彩、描かれている人や事物から作者の心情や意図、表現の工夫を考える。 ・感じたことや考えたことをプレゼンテーションし、見方や考え方を深める。	・クロッキー帳 ・作品（制作過程含む）
8	・美術館へ行こう	・作品鑑賞と美術館の役割について学ぶ	・授業の様子 （発言、観察など）
9	・デザインや工芸との出会い ・文字が生み出すイメージ （表現：デザイン / 鑑賞）	・デザインや工芸との出会い ・色彩のしくみ 色彩の基礎 ・日常生活の中にある工夫された文字のデザインについて。伝達することを視点とした表現について理解し、工夫して表す。 ・形や色彩の効果、分かりやすさなど調和を考えてデザインする。	・定期考査
10	・祭りを彩る造形 （表現：工芸 / 鑑賞）	・日本各地や世界に伝わる祭りの造形物を鑑賞し、それぞれの特徴や造形物に込められた人々の願いなどについて考える。	
11		・テーマをもとに表したいイメージを膨らませ、張り子の技法を用いてお面を制作する。	
12			
1	・つなげて広がる模様の世界 （表現：デザイン / 鑑賞）	・目的や条件などを基に自然物や人工物などの形や色彩の特徴を捉える。 ・形や色彩の特徴を捉え、単純化や強調などをして構想を考える。 ・装飾の目的や模様の文化について理解を深め、生活を豊かにする美術の働きについて考える。	
2		・作者の心情や表現の意図と工夫について考え、見方や感じ方を広げる。	
3			